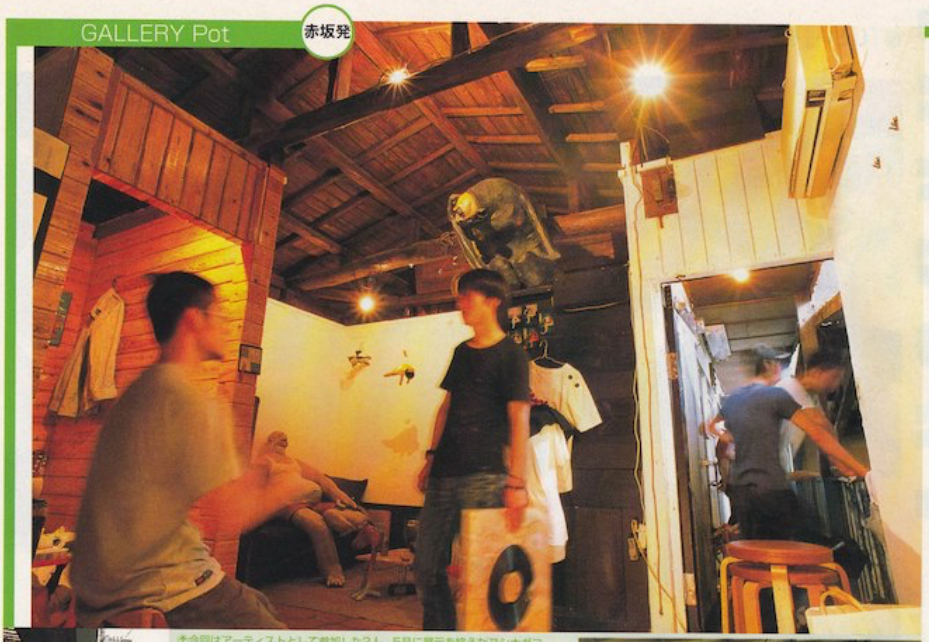
Gallery Pot オープンする 2000 年



GALLERY Pot 赤坂発

●秘密の穴場を検証する、体当たり突撃リポート！

Fukuoka Topics report

FUKUOKA「レタ」発新源

街の穴

↑今回はアーティストとして参加した2人。5月に展示を終えたヨシナガコウタク（九州産業大学・左）と、ただいま展示中の久富健太郎くん（同・右）。写真はヨシナガコウタクの作品を展示中

←"Pot"はけやき通りから入ったところの駐車場の2階にある。これは、近々、道路拡張で壊されてしまうんだとか

「誰もが何かに気づける場所それがPot」

画廊査月のオーナー・森田さんは3月のある日、九州産業大学の松本朋世くんと吉永高拓くんをこの空き部屋へ案内した。狭いけど、どこか懐かしい匂いのするその空間を2人はいたく気に入った。その後、これに4名の学生が加わって、"P.ART PROJECT"が生まれ、「この場所をどう使うか」討論を重ねた結果、生まれたのがこの、GALLERY Pot。…と聞いて、「難しそう…」と拒否反応を示したそこの君！確かに、アート＝難しい、ってイメージはあるよね。でも、ここはそんな固定概念をいとも簡単に壊してくれる。取材時は、ヨシナガコウタクの個展があっていて、天井から床に至るまで何とも表現しようのない不思議生物が存在していた。何なのかと聞くと、彼は「初めて、ここに来た時、何ががいる！みんなに見えるようにしてやらないと」って思って…」と言った。そう、ここにいるのは、自分に正直に物を作って、それをきっかけに人との出会いを楽しんでる彼らだけ。だから、私たちは、ニュートラルな気持ちでその作品を見ればいい。そして、彼らと作品をきっかけに、いろいろなことを語りあううちに、また新しい何かが生まれていく。現在の「サロン」は、こんな所に存在していたよ。

↑上段左より"Pot"のディレクターという存在の松本朋世くん（九州産業大学）、現在、ライターを目指して勉強中の中山奈名子さん（西南学院大学中退）、常に客観的な意見をくれる大塚歩さん（大村美容専門学校）、下段左より現代美術を勉強している武内貴子さん（福岡教育大学）、広報部長でもある大久保剛くん（福岡大学）

〈GALLERY Pot〉はこんなギャラリー

学生たちの審美眼にかなった作品のみを展示するギャラリー。6月30日㊎までは「Pot de cafe」と題して久富健太郎のドローイングの展示と空間演出を行っている

〒中央区赤坂3-7
☎716-1032
（KAZUKI HITOMI GALLERY）
¥19:00～1:00
（土日13:00～）
休火・水曜
※7月以降ははみだし参照

ACCESS バス赤坂二丁目

※7月以降は、毎週土曜日のみ確実に開館 ¥12:00～20:00